

# スリッパークラッチキット 取扱説明書

製品番号 02-01-0318

適応車種	GROM	(JC92-1000001 ~)
	MSX GROM	(MLHJC92)
	モンキー 125	(JB03-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル	(MLHJB03)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎この説明書やサービスマニュアルは、基本的な技術や知識を持っている人を対象としていますので、技術や知識を持っていない人が作業を行った場合、正しく組み付け出来ない場合があり、部品を破損させる場合がありますので、ご注意下さい。
- ◎当製品の取り扱い説明書は GROM を主体とし記載しております。  
モンキー 125 と内容の異なる場合は記載していますのでそちらをご確認の上作業を行って下さい。

## ～特徴～

- スリッパークラッチは急激なシフトダウン時、クラッチを滑らせバックトルクを逃がします。  
これにより、エンジンブレーキによるリアタイヤのホッピングやエンジン、ミッション等、パワートレイン系にかかる負担を減少させる事が出来ます。  
操縦性が安定するのでよりライディングに集中する事が出来ます。
- 弊社製強化クラッチスプリング（別売）との組み合わせで、ハイパワーエンジンにも対応します。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不十分な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	クラッチプレッシャープレート	1	00-02-6215
2	クラッチカム	1	00-00-2887 (⑨スラストワッシャ付)
3	スライドワッシャ	1	00-02-0480
4	クラッチセンター	1	00-00-1701
5	クラッチリフタープレート	1	00-00-1654
6	ボールベアリング	1	00-00-0021
7	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x22	6	00-00-0478 (4ヶ入り)
8	R. クランクケースカバーガスケット	1	00-02-0503
9	スラストワッシャ (Φ 17x Φ 28x t 2.0)	1	00-02-6216
10	ベアリングシム (Φ 21x Φ 28x t 1.0/SUS)	2	00-02-6217

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

当製品はクラッチプレート、クラッチディスク、クラッチスプリングの再使用を前提としたキットですが、磨耗、損傷がある場合はホンダ純正部品を別途ご購入下さい。  
※使用限度については、純正サービスマニュアルを参照し、ご確認ください。

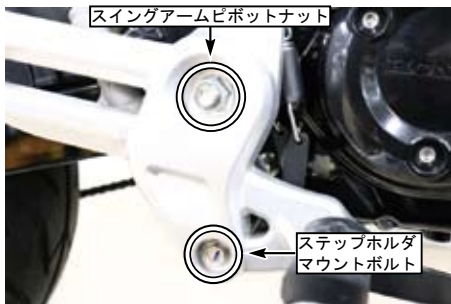
ホンダ純正部品名	ホンダ品番	必要数
ディスクB、クラッチフリクション	22204-K26-G01	3
ディスク、フリクション	22201-KPH-900	2
プレート、クラッチ	22321-KE8-000	4
スプリング、クラッチ	22401-KPH-900	6

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◎はじめに作業は水平で安全な場所で、メンテナンススタンドをかけるなどして、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。  
※車種ごとのサービスマニュアルを参照し作業を行って下さい。

●ノーマルクラッチ取り外し

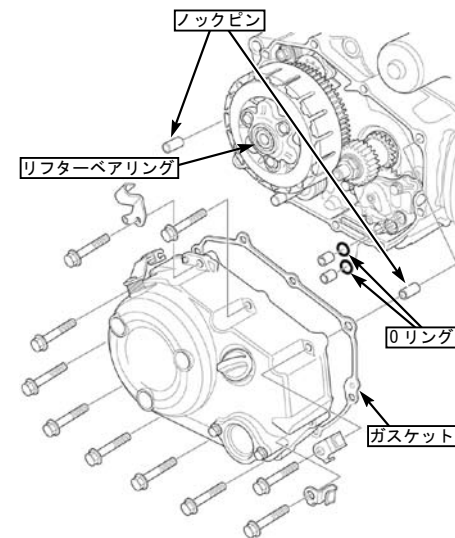
- GROMはマフラーを取り外します。
- ステップホルダマウントボルト、スイングアームピボットナットを取り外します。
- オイル受けを事前に準備しておきます。  
ドレンボルトを取り外し、オイルを排出します。



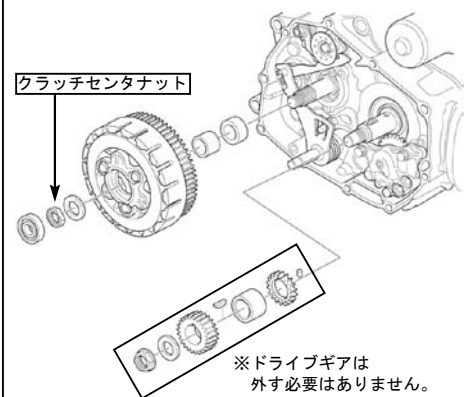
○スイングアームピボットボルトをプラスチックハンマーでL側に少し押し込み、Rステップホルダーをずらし、Rステップホルダーをウエスで保護し後方にずらして下さい。



- クラッチケーブルレシーバー部のクラッチケーブルのナットを緩め、レバーCOMP.よりケーブルを取り外します。R. クランクケースカバーを固定しているボルトを対角に数回に分けて緩めます。ボルト、クランプ2個、R. クランクケースカバーを取り外します。
- ※R. クランクケースカバーを外す際、ガスケットが固着しカバーが外しにくい場合、レバーCOMP.を時計方向に回すとカバーが浮き上がります。
- ノックピン、ガスケット、Oリング、リフターベアリングを取り外します。

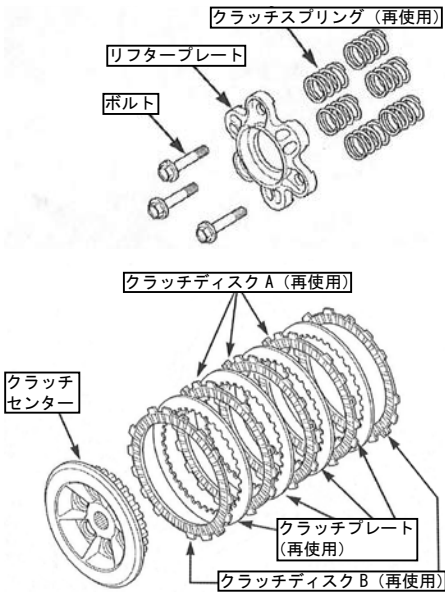


- 一度取り外したR. ステップホルダーを再度スイングアームピボットナットとフランジボルトで仮止めします。シフトチェンジをTOPギアに入れ、Rブレーキをかけた状態でクラッチセンターナットを緩めます。
- ※クラッチセンターナットを外せたらR. ステップホルダーを後方にずらします。



### ●クラッチ ASSY. の分解

○ボルトを取り外しクラッチ ASSY. を分解します。  
クラッチプレート、クラッチディスク、クラッチスプリングは再使用しますのでサービスマニュアルに従い点検して下さい。損傷のある部品は必要に応じて交換して下さい。



### ●クラッチ ASSY. の組み立て

○④クラッチセンターにエンジンオイルを塗布したクラッチディスク、クラッチプレートを交互に取り付けます。  
※組み込みの順序に注意して下さい。



○②クラッチカムにエンジンオイルを塗布した③スライドワッシャを取り付け、④クラッチセンターに取り付けます。  
※③スライドワッシャ側を④クラッチセンターに向けて取り付けます。

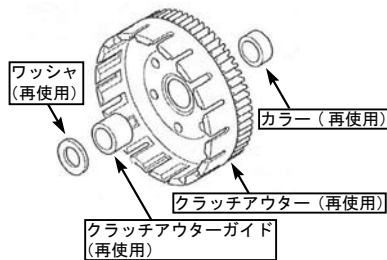


⚠ 注意：下記指示以外の位置で組み込むと破損します。

○①クラッチプレッシャープレートを取り付けます。下図を参考にして④クラッチセンターの SPECIAL PARTS TAKEGAWA のロゴと①クラッチプレッシャープレートの TAKEGAWA ロゴの中心を合わせ、①クラッチプレッシャープレートの三箇所の傾斜部 (凸部) と②クラッチカムの傾斜部 (凹部) を合わせて取り付けして下さい。



○図を参考にクラッチアウトターに純正ワッシャを入れます。必ずワッシャがメインシャフトに通る様に中心にセットした状態で先ほど組み合わせた④クラッチセンター、クラッチディスク & クラッチプレート、②クラッチカム、①クラッチプレッシャープレートをクラッチアウトターに組付けます。



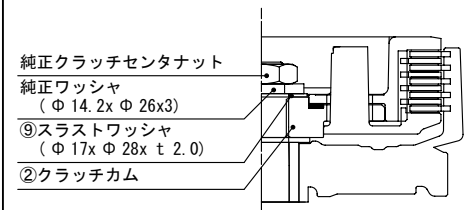
○メインシャフトに純正カラー、純正クラッチアウトターガイドが入っている事を確認し、クラッチ ASSY. を取り付けます。

※この時、クラッチアウトターと①クラッチプレッシャープレートとの間のワッシャがズレない様、慎重に行います。

※②クラッチカムのスプライン (溝) とメインシャフトが入りにくい場合、シフトチェンジが1速になっている状態にし、ゆっくり後輪を回す事でメインシャフトが回転しスプライン部の位置が合いやすくなります。



○図を参考にし、②クラッチカムの上に⑨スラストワッシャ (Φ 17x Φ 28x t 2.0) を入れ、純正ワッシャ (Φ 14.2x Φ 26x3)、クラッチセンタナットを仮止めします。



○一度取り外した R. ステップホルダーを再度スイングアームピボットナットとフランジボルトで仮止めします。シフトチェンジを TOP ギアに入れ R ブレーキをかけた状態でクラッチセンタナットを規定トルクで締め付けます。

※クラッチセンタナットが規定トルクで締め付け出来れば、R. ステップホルダーを外し次の作業に移ります。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
クラッチセンタナット  
トルク：64N・m (6.4kgf・m)

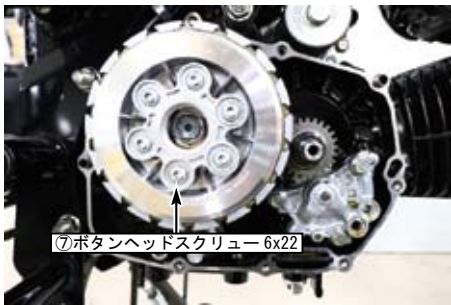




■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

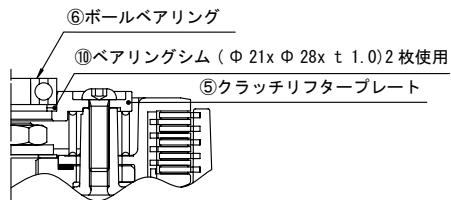
○ノーマルクラッチスプリング、⑤クラッチリフタープレートを取り付け、⑦ボタンヘッドスクリュー 6x22 で対角に 2 ~ 3 回に分けて規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドスクリュー  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

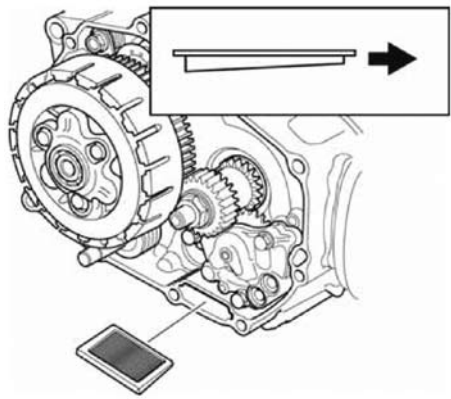


⑦ボタンヘッドスクリュー 6x22

○図を参考にし、リフタープレートの上に⑩ベアリングシム Φ 21x Φ 28x t 1.0 を 2 枚入れ、⑥ボールベアリングを取り付けます。

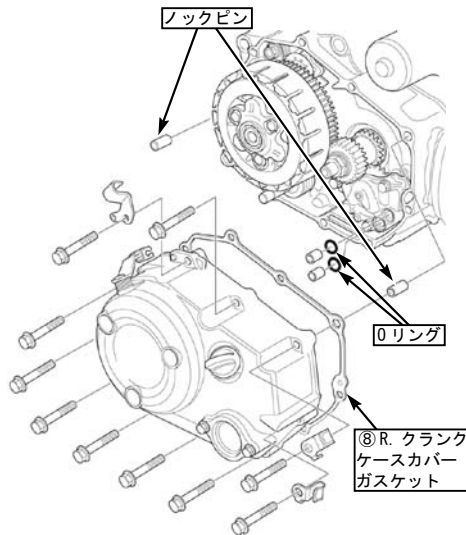


○オイルストレーナースクリーンを洗浄し、テーパ側をクランクケース側に向け、薄いエッジを上向きにして、スクリーンを取り付ける。



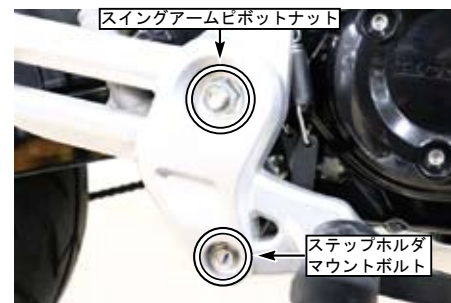
○ケースの合わせ面を脱脂しノックピン、⑧ R. クランクケースカバーガスケット、O リングを取り付け R. クランクケースカバーを取り付け、規定トルクで締め付けます。ボルトは数回に分けて対角線上に締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○ R. ステップホルダをステップホルダマウントボルト、スイングアームピボットナットを使用し、規定トルクで締め付けます。

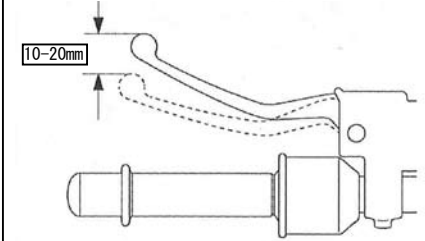
▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スイングアームピボットナット  
トルク：54N・m (5.4kgf・m)  
ステップホルダマウントボルト  
トルク：31N・m (3.1kgf・m)



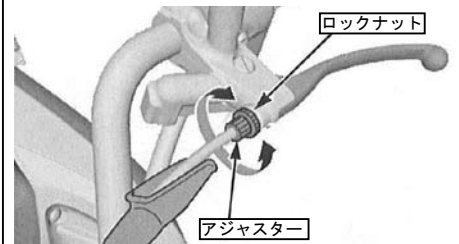
○サービスマニュアルを参考にし、マフラーを取り付け、エンジンオイルを注入し、漏れがないかを確認します。  
エンジンオイル量：0.9ℓ  
○暖気した後、レベルゲージで確認します。

### ●クラッチレバーの遊び調整

○クラッチレバーの先端で遊びを調整します。  
遊び：10-20mm



○微調整はクラッチレバーのアッパアジャスターで行います。  
ロックナットを緩め、アジャスターを回します。アジャスターを固定した状態で、ロックナットを締め付けます。



○主調整は、クラッチリフターレバーのロアアジャストナットで行います。  
ロックナットを緩め、アジャストナットを回して遊びを調整します。アジャストナットを固定した状態で、ロックナットを締め付けます。  
※遊びが基準値にならない場合、テスト運転でクラッチがすべる場合はクラッチを分解して点検して下さい。

